GEKIMIN
元気な民商ニュース

NO，451
発行:北区民主商工会
住所:北区豊島2-13-7
電話 3913−6632
FAX 3913−6741

商工新聞の読みどころ ▼中小業者こそ復興の土台…1面 ▼商売繁盛…2面 ▼どうなってるの？…2面 ▼私たちの主張…2面
▼希望ある復興へ…3面 ▼読者定着へ…4面 ▼安全は信用できない…5面 ▼視点…7面 ▼世の中ウォッチ…7面 ▼経済ジャーナル…8面

ホームページ http://www3.kitanet.ne.jp/~kitamins/index.html　Eメール kitamins@ma.kitanet.ne.jp

北区母親大会

5月29日(日)赤羽北ふれあい館を会場に、北区母親大会を行いました。例年にない早さで「本州直撃」かと報道されていた台風2号の影響で、大雨の中の開催となりましたが、参加122名と大盛況。小田もゆるさんのマリンバ演奏に癒された後、斎藤貴男さんの「消費税増税は復興財源にふさわしいのか」をタイトルに、記念講演を行いました。

「私は池袋にあった鉄屑屋の息子です。職人の家で産まれました。」と、斉藤さん。「中小業者の家で育って、家業を継ぐつもりが、父が早くに亡くなり、日本工業新聞社に入社。プレジデントや週刊文春の編集など、転職の後、フリーにりました。」

滞納率ナンバーワン

フリーになり、原稿料が1000万円を越えた時期と、消費税の課税免税点が引き下げられた年が同時期で、消費税の矛盾に直面しました。頑張って売上を上げたのに、新たな経費がかかる。しかも必要経費を引き、黒字だから掛かるという所得税などと違い、赤字でも払えという仕組みなのが消費税。こうした仕組みの消費税は滞納率ナンバーワンなんです。

政府の宣伝のように、払えるのに払わないという人も居るかもしれません。しかし、だとしたら、他の税金も同じくらい滞納率が有ってもいいと思いますが、ダントツで消費税がナンバーワン。これは払えない税制だという証ではないでしょうか。

矛盾だらけの消費税

皆さん、消費税は消費者が払ってると思ってると思います。しかし、そうでもないんです。代金に上乗せ出来ているところは非常に少ない。大手スーパーとあまりに価格差が有ってはお客さんは逃げてしまいます。大量仕入れで安く買うなんてことができない中小業者でも、値上げは中々できないのが実態です。そして皆さんだって『消費税分くらいまけてよ』なんてやり取りしたことあると思います。消費者感情としたら当然です。

同じことを大企業もするんです。原材料の価格は上がってるのに、下請の業者を値切る。業者は利幅が減り、減った利幅から従業員の人件費や電気・ガス・水道・家賃など、そして消費税を払うことになる。

店主の生活費、その家族の働き分がちゃんと取れているかなど、関係無く発生するのが消費税です。

そして消費税にはもうひとつ矛盾が有ります。トヨタなど、海外に輸出する企業には、輸出戻し税と言って、消費税が還付されます。つまり、お金が戻って来る。

下請を値切って負担させ、輸出戻し税でお金が戻るおかしな税制です。

消費税には更に、重大な欠陥があると思います。それは雇用。従業員として雇った人件費は、消費税の計算をするとき、経費として認められません。一方、派遣会社などに依頼した人件費は、外注費となり、消費税の経費として認められます。つまり、企業は雇用したくなくなる。人材派遣がこれほどまでに広がったのは、消費税が一翼を担っているのではないでしょうか。

広く公平に…?!

消費税はそもそも、低所得者ほど負担率が大きい。それは、電気・ガス・水道他、食品や医療費にも掛かるからです。税率が高いと言われるヨーロッパでは、生活費には掛からない。国全体の税収の割合で見ても、5％の日本ともっと高い諸外国とでは、既に同じくらいの割合になっています。

消費税を引き上げ、高所得者の所得税や法人税を引き下げて来たからです。

これだけ言っても まだ足りない

ある政党は、『消費税は大企業優遇税制だ』と宣伝しています。そう聞いても、皆さんピンと来ますか?中々来ませんよね？でも、消費税を語るとき、今までお話ししたことやその他、色々説明しなければ、なぜ不公平なのかわからない…

実に気の毒だと思います。問題点を一言で訴えられない税制なんです。こういうわからない税制にすることで、反対運動などが起きないようにしているのではないでしょうか。

復興財源に消費税

ここまでお話しすれば、消費税の増税が復興財源として相応しいかどうか、ご理解頂けると思います。けして相応しいとは思えません。そして、3％から5％に上がり、同時期に自殺者が3万人となりました。更に引き上げられたら自殺者5万人時代が来るでしょう。

消費税のカラクリという本を書くにあたって、取材して来た中小業者の皆さん。自殺に至るまでには様々な要因が絡み合い、消費税だけが原因とは言い切れない面も有りますが、引き金は消費税です。

民商を含め、消費税導入当初から反対している団体が有りますが、母親大会で消費税問題を取り上げたというところがとても重要だと思います。マスコミや大企業が誘導する論理に騙されないことが重要だと思います。これを期に全ての税制を見直すのが一番望ましいと思います。

**※近日中に記念講演DVD視聴会を行います。GEKIMINには書ききれなかった内容を、直にご覧ください。新成長戦略が行きつく先は…
是非日程が決まり次第お知らせします。**

前進座観劇会

年一回民商に誘われていく前進座が、唯一の歌舞伎見物になりました。

前進座も創立八十周年で力のはいった出し物を見せてくれました。

めいっぱい見得を切る若い三世代。

悪役をみんな引き受けた二世代。

芝居もさることながら、前進座そのものの今後がたのしみにもなりました。

花道七三の下で最高の席でした。見得を切る度、富沢さんの掛け声が後ろから響きました。

豊島支部　沼田　和子

史実に学び後世につなぐ…
北区戦跡めぐり

6月5日(日)に北区戦跡めぐり実行委員会によるバスツアーに参加しました。この実行委員会は、昨年の原水禁世界大会に参加した医療生協や東京土建の20代を中心とした若い世代が、平和の活動を引き継いでいきたいと、アニメ「アンジェラスの鐘」上映会に続いて企画しました。

北区は明治維新後の新政府の政策により、火薬工場を中心とした軍の施設が、区内面積の約3分の1、東京都で第2位を占める軍都として栄えました。火薬工場の電力は火力発電が不適当なことから、石神井川の水流を活かした、水車による水力発電が考えられたということです。そのため、今も区内のあちこちに往事をおもわせる戦跡があります。

当日の参加は21名、ツアーの講師を北区総務課の黒川さんにお願いして、飛鳥山の平和の女神像を出発に滝野川・十条・桐ヶ丘・赤羽と周り、最後は北とぴあ前の平和祈念像まで、約3時間のコースで戦前～戦後にかけての北区の歴史を学びました。

戦後60年以上が経つなかで、その間内線も含め戦争の悲劇を経験せずに済んでいるのは、世界中で日本のほかほとんどありません。軍備をもたないはずが世界第2位という軍事力をもち、軍隊ではないといいながらアメリカとの共同の軍事作戦を展開する自衛隊がある、という大きな矛盾はありますが、それでも戦争を避けられたのは、平和憲法で戦争を禁止したからだと思います。

私たちの世代以降は、ありがたいことに今日まで平和のうちに暮らして来れました。それだけに逆に戦争の悲惨を身近に感じることもなく、この運動を継承していく事に別の意味の困難さもあると思います。武力で攻めてきたら武力で対抗するしかないという意見のある事も事実です。しかし、私たちの世代も、殺されたくないけれども殺したくもないという想いは共有できるはずだし、傷つけあわないためにはどうしたらいいかという視点で考えていけば、平和の運動は引き継いでいけるものと思います。

今回の企画を実現させた彼らと、民商の青年世代をつなげる努力を今後行っていきます。　鳥居

【戦跡めぐりルート】

平和の女神像(飛鳥山公園)→四本木稲荷・憲兵詰所(滝野川)→造兵陸軍工舎(中央公園文化センター)→防衛省敷地内公園・稲荷公園・中央図書館(十条)→平和の森(赤羽自然観察公園)→軍用貨物線跡(赤羽緑道公園)→戦没者記念慰霊碑(神谷公園)→平和記念像(北とぴあ)

被災地支援ご協力をお願いします

○アイロン　○ホットプレート　○自転車・バイク
○電気掃除機　○くるくるドライヤー
○ズボンプレッサー　○加湿器　○ノートパソコン
募金共々ご支援お願いいたします！

被災地支援に入りまーす！
7月23～24日(土・日)

東商連・青年部協議会を中心に、東日本大震災・被災地の現地支援を行います。支援地・内容は、各県連と話し合い検討中です。詳細が決まりましたら負ってご連絡します。万障お繰り合わせてご参加ください。

掘船の湯川さんが大工道具を届けて下さいました！
ありがとうございます！

現地報告と放射能学習会

6月2日の夜、日本共産党・北区議員団主催による「東日本大震災から3ヶ月＊被災者・被災地と連帯＊報告と学習会」が北とぴあ研修室で開かれ、200人の参加者で会場いっぱいとなりました。はじめに日本共産党区議3人が5月9日～11日の3日間、被災地の視察調査報告がされました。山崎区議からは宮城県仙台市へ義援金を届けた報告や仙台市の小学校を視察し、屋上に避難し寒さをしのぎ過ごしヘリコプターで無事に救助されたことを報告。ながい区議からは宮城県仙台社会保険病院が一手に透析の患者を600人受け入れ、全国からのべ2300人の医療スタッフが支援に来ており民医連のネットワークが発揮されていること、宮城県の介護施設が震災の当日避難所として100名ほど受け入れ、直後「福祉避難所」に指定されたこと、仙台市の市民センターを視察したことを報告。津波により町ごと流され、瓦礫の山になっている被災地の写真が想像をはるかに超える被害を物語っていました。

日大非常勤講師、野口さんから“放射線からどう身を守るか”と題してお話しを聞きました。東日本大震災は関東大震災の何10倍の規模で2万4000人を越える方が行方不明、津波で役場ごと流されている想定外の地震であること、福島の発電所は津波によりディーゼル発電機が同じ時刻に停止したことが東電は今までにない想定外であったこと、そして行政の防災対策もまったく機能しなかったことをお話しされました。さらに風によって放射能物質が空気中に運ばれているが、東京では放射能の数値は基準値以下なので過度に心配することはないと話されていました。子どもは野菜や魚は普通に食べても大丈夫？という質問には、東京は直接に大きな影響が出ないように思われるが、被災地では海による汚染が深刻で魚や初夏から被害が出てくると考えられるので注意が必要とのことでした。

最後に「東京電力は徹底的に責任を取り保障するべき」はもっともだと思いました。行政の防災対策とあわせて東京電力にはしっかりとした保障を求めることを痛感しました。　宇都宮　友里

豊5団地国保料値上げ反対行動

北区社会保障推進協議会では国保料値上げ中止署名大作戦をおこなっています。民商は、6月4日(土)10時から豊島5丁目団地2000世帯への署名行動に参加しました。全体参加は47名でしたが、民商からは副会長の冨沢さん、地元豊島支部の沼田さんと事務局員3名の5名で豊5団地7・8号棟の署名回収作業と署名集めを行いました。記入済の署名用紙を封筒に入れて玄関ドアに貼っておいてくれた人、国保料が値上げになる説明をすると「知らなかった、困るよ」とその場で署名に応じてくれた方など1時間の行動で865筆もの署名が集まりました。今月、加入者の7割近くが値上げになる新たな国保料の通知が各家庭に送られてきます。これからも国保値上げ反対の署名活動と議会への働きかけを社保協の一員として頑張っています。　鈴木　茂子

・・・お知らせ・・・

◆会内なんでも相談会
経営・くらしのなんでも相談会です。毎週木曜日
午後2時～

◆虹の会
第1・第3・第5水曜
2部構成で開催
昼の部2時～
夜の部7時～
次回6月15日見学歓迎

◆記帳整理学習会
6月14日(火)
午後2時～4時迄
記帳相談何でも

◆第一経理　青経塾主催
仕事の確保と経営
トップの決定的役割
先輩経営者からのメッセージ
6月16日(木)18時30分～
6月24日(金)18時30分～
会場・㈱。パワー5階会議室
北区田端4-1-8
参加費　2000円

◆国会要請行動
社会保障、救済・復興財源を名目にした消費税増税と納税者の権利を奪い、強権的税務行政を推進する「国税通則法」の改正は許せない！
6月15日(水)
昼休み集会…
12時15分～13時
その後、議員要請行動を行います。大勢で参加しましょう。

◆第67回定期総会
6月19日(日)
岸町ふれあい館
10時開始